

令和6年12月24日（火曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（文教・子育て）

議会会議室

出席議員

山口 悟、金内義和、西本真造、蔭山敏明、
石堂大輔、萩原唯典、三浦充博、牧野圭輔、
谷川真由美

出席高校生

琴丘高等学校 4人、姫路高等学校 4人
姫路飾西高等学校 3人

開会

13時55分

委員長挨拶

13時56分

出席者紹介

13時58分

意見交換

14時00分

○テーマ

・小中学校の在り方

「減少する児童生徒のために何ができますか」

（高校生）

【姫路飾西高等学校が資料に基づき説明】

（委員長）

クラス替えをするメリットとしないメリットがある
と思うが、クラス替えはあったほうがいいと思うか。
（高校生）

通っていた小学校ではクラス替えがなく、一生の友
達ができるというメリットがあるが、高校進学時に大
人数の生徒がいるので友達づくりに戸惑った。
（高校生）

1組以外のクラスになれるのでクラス替えに憧れ
がある。
（高校生）

小学校の6年間はクラス替えがなく、中学校で2
クラスになったことが嬉しかった。
（高校生）

中学校は2つの小学校が一緒になるが、それでも1
クラスしかなかったのでクラス替えに憧れた。
（高校生）

クラス替えに憧れはあったが、全校生徒でやる行事
や地域全体の運動会等を通して、全員と絆が深まりい
い環境だと思った。

（委員長）

中学校や高校に進学した際、クラス替えがあること

でデメリットを感じたか。

（高校生）

私の地域では大規模小学校と小規模小学校が1つ
の中学校になるため、いじめや孤立が起きやすくなる。
（高校生）

小規模校でクラスの仲がよかったので、人間関係に
不満はなかったが、体育の授業などできないことが多
いことが課題だと思う。

（高校生）

私は2小1中の地域で、小学生の人数も同じくらい
だったので、中学校に進学した際も人間関係の不安は
あまりなく、3年間仲良く過ごせた。

（議員）

クラス替えを経験して感じたことはあるか。

（高校生）

小中学校時代にクラス替えを経験したが、高校では
クラス替えのないクラスなので、人脈が広がらないと
感じている。

（高校生）

クラス替えはあったが、クラス数が少なかったので、
同じクラスの人と関係が悪化すると話しかけづらく
なる。

（高校生）

中学校では1学年6クラスあり、クラス替えで人脈
が広がるのを楽しみにしていたが、クラス数が多すぎ
て接する機会がない人もいたため、学校の規模が大き
すぎることのデメリットも感じている。

（高校生）

1学年6クラスの学校で毎年クラス替えでは多くの
友達ができが、1人の人と仲が深まることが少なか
った。

（高校生）

9年間同じメンバーで過ごす小中学校のクラス替
えと3年間しかない高校のクラス替えは少し違うと
感じた。

（高校生）

高校ではクラス替えのないクラスになったので、友
達を増やしたいと思っているが、人間関係が広がらな
い。

小中学校時代は1年間しか話していない人もいる
ので、適当なクラス数がいいと思う。

(議員)

私の小学校時代は2年に1回クラス替えがあって、友達と一緒にいることや、新しい友達ができることがクラス替えの楽しみだった。

そこで2点お聞きしたい。

1点目、姫路市は小規模校を統合していく方針であるが、皆さんはどのように感じるか。

2点目、姫路市では部活動を地域移行して他校の生徒たちとの交流が今後増えるが、例えば体育大会などを他校の生徒とすることについてはどう感じるか。

(高校生)

高校進学時に顔見知りができるので、体育大会などの行事を一緒にすることはよいことだと思う。

(高校生)

一気に統合してしまうことはもったいないと思う。地域のよさを残しつつ、行事ごとに集まることは楽しそうだと思う。

(高校生)

中学時代に小規模小学校の生徒は孤立しやすかったので行事を通して交流し、最終的に統合すると思う。

(高校生)

私は高校進学時に多くの人と関わることがよかったと思うので統合には賛成だが、少しずつ時間をかけて解決したらよいと思う。

(高校生)

学校を統合すると通学距離が延びるので反対であるが、体育祭などの行事を一緒にすることで高校進学時に友人ができやすくなると思うので賛成である。

(高校生)

統合することで人数が増え、交流することでいろいろな価値観を学べることは良いと思う。

(高校生)

地域の伝統や風習が失われるので、学校を統合することはリスクがあると思うが、部活動などを合同ですることは他校の生徒から練習方法を教わったり刺激をもらえるのでよいと思う。

(高校生)

学校を統合することで、生徒の負担が大きくなると思う。行事で人が足りなければ地域の人にボランティアとして参加してもらうことで生徒の負担も減るし、

地域の人との交流も深まると思う。

(高校生)

学校同士の距離が遠いと通学が負担になり、学校がなくなってしまうことで地域の人との交流が希薄になってしまうため統合には反対である。

(高校生)

地域の人の思いや小規模校のメリットもあると思うが、子どもの人数が減ってきている中で学校の統合はやむを得ないので、小中一貫校にするのはどうか。

(高校生)

小学生の時に通学時間が徒歩で40分ほどかかっていたので、それ以上になると厳しいと思う。

(委員長)

統合は一長一短あって難しい課題だと思う。どちらかという反対の意見が多かったと思う。

(議員)

1クラス当たり30人程度の少人数学級にすることで先生の負担を減らすことがよいのではないかな。

地域コミュニティの核となる小学校がなくなるとは、今後その地域の在り方や住み続けられるかなど問題があると思うので、姫路市は適正規模・適正配置についてまちづくりの方向性を示す必要があると思う。

統廃合は、住民意見を聞きながら進めることが大事である。

(高校生)

先ほど通学時間の話があったが、駅から高校までのバスを利用すると、バス関連の苦情や混雑があるので、通学用のシャトルバスを出してほしい。

(議員)

苦情はどのようなものがあるのか。

(高校生)

バスが混雑するため、1つ手前のバス停から乗車する生徒が多いが、バス停前のコンビニから、人が多すぎて車が通れないといった苦情があった。

(議員)

統合の有無にかかわらずスクールバスは、今後検討するべきだと思う。

(議員)

統合については賛成の意見が多いと思っていたが、小規模校出身の方からも反対の意見が多かったので

貴重な意見が聞けてよかった。

今回の「減少する児童生徒のために何ができますか」というテーマは学校の適正規模・適正配置だけの問題ではないと思っているのだが、皆さんの意見を聞きたい。

(高校生)

近年、私立の中学・高校への進学が増加しており、その結果都会へ人口が集中し、地域が過疎化している。過疎化を止めることは難しいが、地域で育った子どもが、自分の地域に愛着を持って地域の学校に入学することが大切だと思う。

(委員長)

地域のよさを知ることが大事ということだと思うが、小中学校時代に地域のよさを知る機会があったか。

(高校生)

学校では地域学習の時間があつた。

(高校生)

私の地域は運動会や祭りなど地域活動が盛んだつたので、大学卒業後に戻ってくる人が多いと聞いている。地域活動があることはよいと思う。

(高校生)

小学生の時に安富のユズや坊勢の魚など地元の食材を使った給食を食べる機会があつたが、地元の物を食べることで地域の魅力を感じるのではないかな。

(高校生)

例えば田舎の学校では農業体験、都会の学校では地元の企業と連携した授業など、学校ごとに特色ある授業をするとよいのではないかな。

(議員)

私は中高一貫の学校で1学年3クラスで6年間過ごしたので卒業してからも交流があり、絆をすごく感じている。

現在、市議会で議論されている部活動の地域移行について、何か感じることはあるか。

(高校生)

私は中学時代にクラブチームで他校の生徒と交流があり、高校に進学した際に共通の話題を通して交流ができた経験から部活動の地域移行には賛成である。

(高校生)

私は音楽の部活動をしていて外部顧問だったが、すごくよい思い出として残っているので、今後も学校で

の部活動を続けてほしいと思っている。

(高校生)

顧問の先生があまり部活動に積極的ではなかったので、地域の方々にボランティアをしてもらえたらうれしかった。

(高校生)

私は学校外で運動をしていたので、顧問の先生がいることや学校の名前を背負って大会に出場することは良いことだと思う。部活動を通じて生徒がまとまっていると感じていた。

(高校生)

クラブチームの指導者はどういった人になるのかな。

(委員長)

地域の指導者になる。

(高校生)

私は陸上部に所属しているが、陸上未経験の先生が、競技場でスーツを着て1日中審判をするのは大変だと思った。また、先生から大会のある土日に生徒に付き添っても5,000円しかもらえない上、平日の部活動はお金が出ないと聞いて驚いた。中学時代の先生はあまり部活動に積極的ではなかったので、熱心な先生とそうでない先生の差があるのはどうなのかなと思う。

地域の人に指導してもらうことになると思うが、部活動の時間に働いているので、指導者が高齢の人になると思うが、体罰や過激な発言がないか気になる。

(議員)

詳細はまだ決まっていないが、研修等を受けることになっている。

(委員長)

学校の先生も登録することで指導者になれる。ボランティアではなく、賃金も支払う予定であり、部活動が地域に移行することで、子どもたちの選択肢を増やしていくことを考えている。

(高校生)

部活動を地域移行することで人との交流が広がり、部活動の選択肢が増え教師の負担が減ることはよいことだと思うが、部活動だから参加しようと思っている生徒は、学校外になると入らなくなってしまうのではないかな。

(高校生)

小学校から陸上をやっていたが、中学校に陸上部が

なかったので、ソフトテニス部に入部した経験から部活動の地域移行はよいことだと思うが、教師と生徒が一緒になってスポーツができるという面では部活動がよいと思う。

(高校生)

私も中学校に入りたい部活がなかったので地域移行はよいと思うが、部活動が先生と話すきっかけとなったので顧問は先生にお願いしたい。

(高校生)

私の学校は部活動の数が少なく、やりたいスポーツができない生徒がいたと思うので選択肢が広がることはよいことだと思う。また、未経験の先生が顧問になった場合上達したい生徒にとってはもどかしい気持ちになると思うので、地域移行することは部活動を頑張りたい生徒にとってよいことだと思う。

一方で、私自身はスポーツがあまり好きではなかったが、皆が部活動をしていたので中学時代にスポーツをすることができた。地域移行することでクラブチームになると得意な人がするイメージがあるので挑戦しづらい。学校だと友達もいるので挑戦するハードルが下がると思うので、賛成か反対かは決められない。

(高校生)

その学校にない種目を選べることや他校の生徒と一緒に参加することで部活動の人数が増えるので、地域移行には賛成である。

(高校生)

先生が多忙なので、未経験で顧問になってもできることが少ないと思う。地域の人が協力してくれることで悪い面もあると思うが、つながりが広がるので賛成である。

(議員)

おおむね地域移行に理解を示してくれていると思う。皆さんが不安に感じるところを聞くことができてよかったので、引き続き議論していきたい。

(委員長)

高校の先生は地域移行について、どのように思うのか。

(教師)

部活動の地域移行については中学校の先生がかなり不安に感じていると思う。ネット上ではBDK(部活動大好き教師)というワードが出てきて、こういっ

た人たちが教育の改革を妨げていると書かれている。

部活動の目的がスポーツを楽しむことであれば良いが、スポーツを通して大学進学やその先の進路を切り開いていく生徒もいるので、そういった生徒にとってはかなりマイナスになると思う。

(議員)

適正規模・適正配置や地域への思いを聞けてよい機会になった。個人的な思いとして小学校は自力で歩いて行ける距離を維持してほしいと思っている。

部活動については、以前から小規模校の競技種目の選択について課題があり、その課題を解決するために一定の規模の学校や先生の人数が必要になっている中、地域移行の話が出てきている。部活動は学校の先生が指導することがベストだと思っており、先生が部活動を担うためにはどうすればよいかを考えるべきだと思っている。

(議員)

皆さんの意見を聞いて、学校間の距離が近ければ統廃合は可能だと思うが、距離が遠い学校同士の統廃合は難しいと感じた。

統廃合の問題は大人が考えて決定しているが、当事者に近い高校生の皆さんの意見が聞けて大変参考になった。

今回の意見を今後も発信してもらいたいと思う。

(委員長)

皆さんの貴重な意見を生かして市の事業に反映していきたいと思う。

今回のテーマ以外に議員に聞いてみたいことはあるか。

(高校生)

人口流出が姫路市の課題になっているが、その中で郊外部をどのように扱っていくのか。

(議員)

郊外部を都市化していく方向性ではないと認識しているが、働く場所がないと定住することは難しいと思う。

例えば農業は六次産業化が進んでおり、農家が大規模農業を進めているので産業化に期待している。

現在、市に流入する人より流出する人の方が多い状況で、喫緊に対策を立てないと人口減少に歯止めがかからないと思う。

一方で、すべての地域を都市化し、インフラを整備すると莫大な費用がかかるため、国の人口が減少している中ではできるだけコンパクトなまちづくりをしていくべきという意見もあるので、市として方向性をしっかりと作っていくべきだと思う。

(高校生)

ＵＩＪターンなど、地元の人が地域の企業に就職しやすい環境整備が必要ではないか。

(委員長)

私が勤めている企業では、家業を継ぐ等の理由で退職し地元に戻ってしまう人が多いので、採用を県内出身者のみにしようという動きがある。今後は多くの企業がそのような流れになるのではないか。

意見交換終了 **15時45分**

副委員長挨拶 **15時46分**

閉会 **15時47分**